

教員養成に係る授業科目及び担当教員

【教職に関する科目】

科目名称	履修学年	必修・選択	単位数	担当教諭
教職論	1年次以上	必修	2	菅原 亮芳
教育原理	1年次以上	必修	2	菅原 亮芳
学習・発達論	1年次以上	必修	2	下山 寿子
学校の制度	2年次以上	必修	2	菅原 亮芳
社会科・公民科教育法Ⅰ	3年次以上	選択必修	2	菅原 亮芳
社会科・公民科教育法Ⅱ	3年次以上	選択必修	2	菅原 亮芳
社会科教育法Ⅲ	3年次以上	選択必修	2	菅原 亮芳
社会科教育法Ⅳ	3年次以上	選択必修	2	菅原 亮芳
商業科教育法Ⅰ	3年次以上	選択必修	2	櫻井 清人
商業科教育法Ⅱ	3年次以上	選択必修	2	櫻井 清人
情報科教育法Ⅰ	3年次以上	選択必修	2	築 雅之
情報科教育法Ⅱ	3年次以上	選択必修	2	築 雅之
旧:道徳教育の研究	1年次以上	必修	2	下山 寿子
特別活動の研究	3年次以上	必修	2	下山 寿子
教育方法論(教育課程を含む) 旧:教育方法の研究(教育課程を含む)	3年次以上	必修	2	菅原 亮芳
生徒・進路指導論 旧:生徒指導の研究(進路指導を含む)	2年次以上	必修	2	下山 寿子
教育相談の理論と方法 旧:教育カウンセリング	1年次以上	必修	2	下山 寿子
教育実習(事前指導)	3年次以上	必修	1	菅原 亮芳 下山 寿子
教育実習(事前・事後指導)	4年次以上	必修	1	菅原 亮芳 下山 寿子
教育実習	4年次以上	必修	2	菅原 亮芳 下山 寿子
教職実践演習	4年次以上	必修	2	菅原 亮芳 下山 寿子

【教科又は教職に関する科目】

科目名称	履修学年	必修・選択	単位数	担当教諭
介護等体験指導	1年次以上	選択	1	菅原 亮芳 下山 寿子
「総合的な学習の時間」の指導法 旧:教職総合演習	2年次以上	選択	1	菅原 亮芳 下山 寿子
道徳教育指導論	1年次以上	必修	2	下山 寿子

【教員免許法施行規則に定める科目】

科目名称	履修学年	必修・選択	単位数	担当教諭
法と社会Ⅱ(日本国憲法を含む)	1年次以上	必修	2	篠原 敏雄
スポーツ(実技)	1年次以上	必修	2	鈴木 昭彦
基礎英語Ⅰ	1年次以上	選択必修	2	金澤 智 渡邊美代子 柳澤 順一
基礎英語Ⅱ	1年次以上	選択必修	2	
コンピュータリテラシーⅡ	1年次以上	必修	1	坂本 明子
ビジネスコンテンツ制作実習	1年次以上	必修	1	竹上 健

教員養成に係わる専任教員の経歴・専門分野・研究業績等

菅原亮芳教授 (SUGAWARA AKIYOSHI)

職名・役職名	教授・学生部長
学 位	博士(教育学) (九州大学)
略 歴	1991～2002年 財団法人日本私学教育研究所・主任研究員 (教育課程、初任者研修等担当専門研究員) 2002年～現在に至る 高崎商科大学教授
担当科目	教育原理、教職論、教職実践演習、社会科・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ、社会科教育法Ⅲ・Ⅳ、教育方法論(旧:教育方法の研究)、教育実践の研究、教育実習、「総合的な学習の時間」の指導法(旧:教職総合演習)、職業指導、学びの技法、コミュニケーション論、介護等体験指導
専 門	教育学・教育史。近代日本教育情報史研究、近代日本教育キャリアデザイン形成史研究、近代日本における青年の「学び」の構造史、近代日本における育英奨学事業の歴史的研究、近代日本における教員論の系譜、準専門職志望者に伝えられたキャリア情報・試験情報並びに言説に関する史的研究
主要業績	1987年～93年共編著『近代日本教育関係雑誌目次集成』(全85巻) 1992年共著『私立学校の歴史(上)』 1993年共著『近代日本における知の配分と国民統合』 1993年共著『私立学校の歴史(中その1)』 1995年単著『私立学校の歴史(中その2)』 1997年共著『「文検」の研究』 単著『私立学校の歴史(中その3)』 1998年共著『私立学校の歴史(下)』 2003年共著『「文検」試験問題の研究』 2005年共著『近代日本中等教員養成に果たした私学の役割に関する歴史的研究』 2008年単独編『受験・進学・学校』 2011年単独編『近代日本人のキャリアデザインの形成と教育ジャーナリズム』(科研費報告書) 2012年単著『近代日本における青年の「学び」と教育情報』(学位博士論文・九州大学) 2013年単著『近代日本における学校選択情報—雑誌メディアは何を伝えたか』 2014年単著「資格への学びと学びの近代(資格志向と生涯教育への時代の到来を視野に入れつつ)」 (『2014年度 検証・教育実習』共編著、高崎商科大学、2015年3月所収) 共著「近代日本『職業案内書』文献目録」 (『2014年度 検証・教育実習』共編著、高崎商科大学、2015年3月所収) 他

下山寿子 (SHIMOYAMA TOSHIKO)

職名・役職名	教授・教務委員長
学 位	文学修士 (立教大学)
略 歴	1996年～1999年 立教大学文学部教育学科助手 2002年～2004年 高崎商科大学専任講師 2005年～2011年 同大学助教授・准教授 2012年～現在に至る 同大学教授 臨床心理士、認定カウンセラー、認定スーパーバイザー、ガイダンスカウンセラー
担当科目	学習・発達論、教育カウンセリング、生徒・進路指導論 (生活指導の研究)、特別活動の研究、道徳教育の研究、教職実践演習、教育実践の研究、教育実習Ⅰ・Ⅱ、教職総合演習、教養演習、心理学、学びの技法、コミュニケーション論、介護等体験指導
専 門	教育心理学、学校臨床心理学。教育心理学説史研究、不登校の研究、芸術療法としてのコラージュ製作の解釈学的基礎づけに関する研究、近代日本教育心理学における「教育病理」の系譜と心理・教育ジャーナリズム、近代日本の準専門職形成史の研究
主要業績	1993年共著『実践教育相談シリーズ 人間関係についての相談』 1994年共著『人間の発達と臨床心理学4思春期・青年期の臨床心理学』 1999年共著『現代のエスプリ コラージュ療法』 2004年共著『新臨床心理学』 共著『コラージュ療法・造形療法』 2004年～2014年共著『検証・教育実習』 2006年単著『日本におけるコラージュ療法研究関係文献目録』 2008年共著『受験・進学・学校』 共著『障害児の理解と支援』 2009年単著『近代日本教育心理学における「教育病理」の系譜と心理・教育ジャーナリズム』 (科研費報告書) 2011年共著『近代日本人のキャリアデザインの形成と教育ジャーナリズム』(科研費報告書) 2013年「芸術療法としてのコラージュ製作の解釈学的基礎づけに関する基礎的研究(1) — 自傷行為を訴える女子学生を例として—」『高崎商科大学紀要』第28号 2014年共著「近代日本『職業案内書』文献目録」(未定稿) (『2014年度 検証・教育実習』共編著、高崎商科大学、2015年3月所収) 他